

平成16年度 教師海外派遣（派遣国：エジプト）実践報告書

タイトル： 国際協力の意義を自分の興味を活かして考える

氏名： 高井 巖

学校名： 札幌市立美香保中学校

実践教科： 選択社会科 35時間扱い

対象生徒： 3年生 30名

カリキュラム案

（1）実践の目的

エジプトで体験した内容だけにとらわれることなく、エジプトで感じた国際協力の必要性をこれからの世界を作り上げていく生徒と一緒に考えていく。また、随所に自分がエジプト研修で構築してきた体験や人脈を最大限に活用して「開発教育」のスタンダードとなるような実践を作り上げる。

実際は生徒の興味を最大限に引き出すことができるよう「概観」・「興味関心」・「実践」の三段階に設定して、取り組んだ形が目に見えるように作ろうと計画した。

（2）授業の実践案

【第一段階】まずは国際協力の意義を考えてみましょう

時限	学 習 テ ー マ	ねらい・方法・内容	使用教材
1	オリエンテーション	・オリエンテーションの実施。 35時間の使い方をプリントから説明する。指導者側もなぜ、この内容に取り組みたいと感じたのか説明した。 また、各生徒の興味を聞いた。	・プリント *1
2	貿易ゲーム	・貿易ゲームを実施して世界の現状を産業、工業の側面から捉える。 事前に生徒に内容を明かすことなく、取り組ませた。	・定規、コンパス、はさみ 等
3	貿易ゲームに取り組んで	・貿易ゲームで感じたことを振り返った。 グループ分けをして、感じたことを模造紙に書き、それを掲示して互に見合った。	・模造紙 ペ ン
4	グループ分け	・生徒が興味のある問題に分かれて専門的に取り組ませることとした。	・プリント *2

	学 習 テ ー マ	ねらい・方法・内容	使用教材
5	世界の現状を把握する	・自分の興味を活かすために、インターネットで情報を獲得する。 前時の振り分けのテーマから、自分の取り組む問題や地域に絞って調べさせた。	・インターネット
6 ～ 9	グループ別学習	・同じ地域をテーマとする生徒がグループとなって、その地域の抱えている問題をまとめる。 様々な観点からの問題が提示され、地域が抱えている問題の重さを感じる。	・図書室で実施 ・模造紙 ・ペン ・参考文献
10 11	発表会	・調べた地域が抱える問題を全員で共有する。 世界の現状を知るために、積極的に意見交流させたい。	
12	発表会の振り返り	・発表会から、一人一人が新たに持った課題を浮き彫りにさせる。 諸問題の解決はとても困難なことがあることを知る。新たな課題を発見する。	・グループ討議

・この先は本年度まだ、実施していない計画段階のものである。

【第二段階に行くために】

時数	学 習 題 材	内容・評価・その他	
13	現場で体験した人の話を聞こう その1	・担当者のエジプトで体験した話を聞く。	・パワーポイント等で作成
14	現場で体験した人の話を聞こう その2	・生徒の関心の高い内容について、ジャイカから出前講座をしてもらい、一時間話をしてもらう。	
15	セネガルのファールさんの話	・セネガルのファールさんの暮らしを「生きる」という言葉をキーワードにして、今まで積み重ねてきた学習から視点の変換を図る。	・札教研公開授業

【第二段階】 次に自分の興味を生かしていきましょう

時数	学 習 題 材	内容・評価・その他	
1 6	再グループ化	・ 第一段階で自分が感じた課題を解決するために、同じ考えを持つ仲間とグループ化する。	・ 担当者が仲介してグループ化させる
1 7	実践の開始 ～ 2 1	・ 自分たちに取り組むことができる内容を模索し、様々な方向から展開していくことを考える。 単純にまとめ活動になっても良い。 実際に何らかの活動に結びつけることができるとベスト。 主眼として、校内に広めていく。	・ インターネットや図書資料の活用
2 2	実践、提案・報告会	・ 5時間使って取り組んだ内容を報告する。	

【第三段階】 最後に自分たちの活動を様々な角度から評価する

時数	学 習 題 材	内容・評価・その他	
2 4	方向性の確認と今後について	・ 担当者から活動の評価と、今後の動きについて説明する。	
2 5	その道の達人に話を聞く	・ 国際協力の専門家から、自分たちの取り組みを評価してもらう。	
2 6	外国の方々との交流 1	・ 外国人の視点から、自分たちの取り組みを評価してもらう。 同じ先進諸国の人々から	
2 7	外国の方々との交流 2	・ 外国人の視点から、自分たちの取り組みを評価してもらう 援助を受けている国の立場から	
2 8	実際に発信しよう	・ 自分たちの取り組みを、校内だけではなく地域に広げていく。	
3 0 3 4	成果の確認と発表会に向けて	・ ジャイカ札幌での市民セミナーの発表会に向けて内容を準備していく。	
3 5	まとめと反省	・ 1年間のまとめと、この活動を将来にいかしていくための反省を行う	

3月22日（水）

特1	ジャイカ札幌の市民セミナーで 発表会	・一年間の取り組みの成果と課題。問 題提起を市民セミナーの場で発表す る。	
----	-----------------------	---	--

実践してみて

(1) 最初に

教師海外派遣プログラムに参加できたことを心から感謝しています。エジプトでの経験を通して自分の本当にやりたいと感じていたことを実現させることができました。でも、まだエジプトだけで経験したに過ぎないので、さらに見聞を広げ、生徒と一緒に意味のある授業作りをしていきたいと考えています。

(2) 実践の様子

様々ある校種の中でも、中学校では実践しやすい環境であると思われる。実際今回の経験は単にエジプトについての内容を展開するのみではなく、「国際協力」という視点で、選択教科で実施したところ、定員をはるかに超える希望者が出て（募集定員の倍）生徒の関心の高さが伺えた。この関心の高さを活かして生徒個々の能力を超えた、心と体で感じていける時間となっている。

しかし、第一段階で世界を地域分けしたときに能力の高い生徒でも、地域分けをすることができなかった。教育内容の精選により、系統的に学習できなくなっているのである。例えば中東を例としても、なぜそのような地域となっているのか考えることもできない。また、実際に地域としての中東を知っても、知識としての大陸の概念が正しい理解を阻害して、そこに住んでいる民族や宗教、生活習慣まで目が廻らなかったのである。最初の課題に取り組むために苦労した点はその説明が大部分であった。

だが、実際に学習が始まるとその地域が抱えている問題の大きさや困難さ、自分たちの生活と比較できないほどの環境にただただ驚くばかりで、地域の抱えている問題をリストアップする学習場面でも、次第に生徒の学習は問題そのものを掘り下げる方向に進んでいった。そのため、地域としての問題よりも、問題そのものに注目している事が多かった。内容としては第二段階に生徒が最初から進んでいることになる。そのような意味でも第二段階からスタートして、世界を概観する方法でも良いかも知れない。

(3) 今後に向けて

今後は授業内でいかにして生徒の視点を広げていくことができるかが課題である。ひとつ間違えると、援助を受けている国はかわいそうだから「援助してあげる」となりがちである。本実践は国際協力の意義を考えることを目的としているので、自己満足で終わらせてはいけない。援助という行動を通して互いに学びあう事が大切である。「相互依存」の視点を育てていきたい。そのためにも、15時限目に設定している「セネガルのファールさんの暮らし」を通して視点の変換を図りたいと考えている。

ようこそ選択社会科（発展）へ

これから学ぶ一年間の内容はもしかしたら、みなさんの人生を変えることになるかも知れない重要な題材です。しっかりとした態度で参加して下さい。

持ち物について

毎 時 間

- ・筆記用具 地図帳 (何でも良いので) A4サイズの紙が入るファイル

その他は必要に応じて1時間先の授業の中で説明しますので、忘れ物は絶対にしないで下さい

活動場所について

- ・基本的には2階多目的室を活動場所とします

活動のルールについて

ここに集まった30人は多くの第一希望の中から選ばれた人たちです。受けることができなかった人々のためにも、このメンバーは少なくともこの時間の中では仲良くして下さい。そうでなければ活動を成立させることができません。

必修活動について

6月頃から募集が始まる「ジャイカ中高生エッセイコンテスト」に作文を提出することが必修課題です。これを提出しなければ、どんなに素晴らしい活動に取り組んでも評価はCになります。

氏 名

選択グループ分け

全員必ず A と B グループに属してもらいます

(定員は A グループ各 6 人、B グループ各 4 ~ 5 人)

A 分類 (協力を必要としている国や地域)

アジア A グループ (東南アジアを中心とするグループ)

アジア B グループ (東・中央・南西アジアを中心とするグループ)

中南米グループ

アフリカグループ

中東・欧州グループ (欧州は主に東欧諸国を中心とする)

B 分類 (抱えている問題による分類)

- ・ 教育
- ・ 人権
- ・ 衛生
- ・ 貧困
- ・ 自然環境
- ・ 社会保障
- ・ 水資源

C 分類 (話し合いを行う上で近い分野のグループ)

- ・ 人権 社会保障
- ・ 衛生 水資源 自然環境
- ・ 教育 貧困

選択社会科希望調査

	組	番	氏名
A 分類	第一希望		第二希望
B 分類	第一希望		第二希望